

行政評価調査

事務事業名	水戸黄門まつり開催事業		評価初年度	平成 28 年度
実施主体	水戸黄門まつり実行委員会		担当部署名	産業経済部観光課
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等	
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類	1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項
中項目	活力あふれる産業の振興	2		4. 計画等 5. 特になし 4
小項目	戦略的観光の振興	1		名称

1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	S36 年度	②事業の完了予定の有無（有/無）	無	年度
③事業の概要 水戸黄門まつりは本市恒例の夏祭りとして毎年8月の第1金・土・日の3日間開催しており、多くの市民の参加のもと、本市を代表するまつりとして、例年多くの来場者でにぎわっている。 現在、少子・高齢化、都市環境の変化等、各自治体をとりまく環境は急速に変化しており、多くの自治体が持続的な都市の発展に向け、交流人口の増加策を検討しているところである。 そのような中、観光の振興は、交流人口を増加させ、経済波及効果を高める成長産業の一つとして全国的に注目され、観光地間の競争が激化している状況である。 水戸黄門まつりにおいても、これまで、市民が参加し楽しむまつりとして長年開催してきたところであるが、さらなる交流人口の増加を図るため、本市の観光の発展に寄与するまつりとして、内容の充実に努めているところである。				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に		対象者（平成28年4月1日）		
市民、観光客		939,000人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 本市の観光交流人口450万人の実現に向けより多くの観光客が来場するまつりとして。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標1				
指標	水戸黄門まつり観客数	説明	各年度における水戸黄門まつりの観客数	
成果指標2				
指標	協賛企業社数	説明	各年度における水戸黄門まつりへの協賛企業社数	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 水戸黄門まつり実行委員会（事務局：水戸観光協会）が主催であり、運営協議会をはじめ、山車部会、水戸黄門パレード部会等、各種イベントごとに部会が組織され、多くの関係者が協議を行った上でまつりを開催している。より多くの観光客を誘致することを目指し、水戸黄門まつりの事業内容のリニューアルを検討していく。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 水戸黄門まつりは、市民が主体的に盛り上げている本市の夏を代表するまつりである。当まつりは、人が躍動する魅力ある観光資源であり、市民はもとより多くの観光客が参加していることから人々のニーズは高く、必要性が高い。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 企画から実施まで多くの市民が参加する水戸黄門まつりは、参加者間のコミュニティや、本市のブランドの形成・向上に寄与しているとともに、その魅力を感じるために来訪する観光客の誘致に有効である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業） 水戸市内各地域主催の夏まつり				
⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO、実行委員会⇒市直営、民間・NPO） 水戸黄門まつりは多くの関係者の協力のもと開催されており、市、民間・NPOが主体となつて実施するには人的資源・資金面において負担が大きい。そのため、多様な主体の力を結集することができる、現状の実行委員会による開催が最も効率的である。				

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 水戸黄門まつり観客数（人）			成果指標 2 協賛企業社数		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
25年度	946,000	956,000	101.1	280	274	97.9
26年度	956,000	891,000	93.2	280	296	105.7
27年度	965,000	939,000	97.3	300	283	94.3
28年度	974,000	933,000	95.8	290	291	100.3
29年度	983,000	966,000	98.3	300	304	101.3
30年度	992,000			300		
31年度	1,000,000			320		
①目標値の根拠	・観光交流人口の数値目標達成に向けた設定 ・課内方針			・例年同等数を最低限の目標とし、景気等を勘案しながら上積みを目指す。 ・課内方針		
②数値で表せない効果	・まつり開催を通じた市のイメージアップ					

※目標年度の数値は、必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）		②単位当たりの行政コスト （①行政コスト/成果指標1）（円）	
	財源内訳（千円）	支出内訳（千円）		
H 25 決算	国県支出金		旅費	36.09
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	34,500	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
	34,500	その他	34,500	
H 26 決算	国県支出金		旅費	38.72
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	34,500	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
	34,500	その他	34,500	
H 27 決算	国県支出金		旅費	36.74
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	34,500	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
	34,500	その他	34,500	
H 28 決算	国県支出金		旅費	36.98
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	34,500	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
	34,500	その他	34,500	
H 29 決算	国県支出金		旅費	35.29
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	34,093	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
	34,093	その他	34,093	
H 30 予算	国県支出金		旅費	
	市債		報償費	
	その他		需用費	
	一般財源	34,500	役務費	
			委託料	
			使用料・賃借料	
	34,500	その他	34,500	

③コスト削減の取組

なし

4 1年目評価

(1) 1次評価 (内部評価) ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。		・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
	③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。		・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性	
○	④対象者のニーズが高い事業である。		・1-⑦必要性	例年多くの市民・観光客が訪れており、対象者のニーズが高い。
	⑤民間、NPO等に類似事業はない。		・1-⑨類似事業	
合計			評価結果	B
1	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。		・2-成果指標	
○	②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。		・1-⑧有効性 ・2-成果指標	企画から実施まで多くの市民が参加する水戸黄門まつりは、参加者間のコミュニティや、本市のブランドの形成・向上に寄与しているとともに、その魅力を感じるために来訪する観光客の誘致に有効である。
	③成果指標の実績が目標に達している。		・2-成果指標	
○	④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。		・1-④事業の目的	本市に居住、または本市を訪れる全員が対象者である。
○	⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。		・1-⑩手段 ・別紙2 イベント詳細シート	実行委員会を通し多くの関係者が運営に携わっており、手段が適切である。
合計			評価結果	A
3	点			
効率性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①効率性向上の余地はない。		・3-①行政コスト	
	②コスト削減への取組を実施している。		・3-③コスト削減の取組	
○	③他の主体が実施するよりも効率的である。		・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	多様な主体の力を結集することができる、現状の実行委員会による開催が最も効率的である。
	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。		・1-⑨類似事業	
○	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。		・3-②単位当たりの行政コスト	観客数一人あたりの行政コストは前年より低くなっている。
合計			評価結果	B
2	点			

事務事業の評価

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	ウ
方向性			
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
	ア	主体を代える（実施主体を代える）	
	イ	手段を改善する（実施の手段を代える）	
	ウ	効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）	
	エ	簡素化する（規模を縮小する）	
	オ	統合する（類似事業を統合する）	
3 休止、廃止			
②課題と解決方法（「見直しの上で継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。） 事業の単位当たりのコストを下げ、より効率化を図るためには、成果指標となる観光客数を増加させることが必要である。より多くの観光客を誘致することを目指し、水戸黄門まつりの事業内容のリニューアルを検討していく。			

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続（効率化を図る）
評価する点、改善すべき点 水戸黄門まつりは、花火、市民カーニバル及び神輿渡御を通して、市民が参加し楽しむことを目的とした夏まつりであり、実行委員会が実施主体のイベントである。 本イベントについては、90万人以上が参加する水戸を代表する観光資源として有益であるとともに、実行委員会による運営についても、おおむね評価できるものである。 しかしながら、事業内容は、少しずつ改善されているものの、主な企画内容が固定化している印象がある。必ずしも市民参加型、あるいは観光交流型と的を絞る必要はないが、まつりのあり方・方向性自体について、多くの人々が共通認識をもって取り組むことができるようにある程度明確にした上で、事業内容のリニューアルの検討をしていく必要があると思われる。 まつりの評価方法も、各団体の反省会のみではなく、来場者へのアンケートの実施や、まつりのあり方を検証する庁内組織や外部検討委員会の設置など、評価のあり方について検討すべきである。 また、観客数の測定が、前年度実績を元にした感覚的な測定であるため、客観的な測定方法を検討すべきである。 評価方法や観客数の測定方法の改善は、まつり自体の内容を客観的に認識し、評価していく上で、基本的かつ根本的なものといえるので優先的に取り組むべきである。 集客についても、例えば、同時期にひたちなか市で開催されているロック・イン・ジャパン・フェスティバルと連携して、水戸黄門まつりとの間で回遊性を持たせるなど、集客力向上に向けた取組を進めるべきである。 さらに、補助金は毎年定額となっているが、市の関与の範囲を明確にするなど、補助金のあり方を再検討すべきである。加えて、協賛金について、うちわや花火など使途が限定される協賛金以外に、使途が特定されない協賛金を積極的に募るなど、新たな財源の確保に向けた積極的な取組が必要である。 そのため、1次評価の「見直しの上で継続（効率化を図る）」は、妥当である。	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続(手段を改善する)
<p>水戸黄門まつりは、実行委員会が実施主体のイベントであり、90万人以上が参加する水戸を代表する観光資源として有効であるとともに、実行委員会による運営についても適切に実施されている。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、主な企画内容が固定化しており、市民参加型のまつりから観光交流型のまつりへの転換など、事業内容のリニューアルの検討が必要である。まつりの評価方法も、各団体の反省会のほかに、来場者へのアンケートの実施や、まつりのあり方を検証する組織等の設置を検討する必要がある。</p> <p>また、観客数の測定については、より客観的な測定方法を検討する必要がある。集客についても、同時期にひたちなか市で開催されているロック・イン・ジャパン・フェスティバルと連携して、水戸黄門まつりとの間で回遊性を持たせるなど、集客力向上に向けた取組を検討する必要がある。</p> <p>さらに、補助金については、毎年度同額であるため、補助額の妥当性等の観点から、支出内容を精査し、費用対効果について検証する必要があるほか、協賛金も、用途を特定しない協賛金(うちわや火花など用途が限定される協賛金以外)を募るなど、新たな財源の確保に努める必要がある。</p> <p>そのため、「見直しの上で継続(手段を改善する)」とする。</p>	

5 1年目改善目標(1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	<p>事業を適切に評価するために来場者へのアンケートを実施する。あわせて、集客力向上に向けた事業内容のリニューアル等を進めるとともに、まつりのあり方を検証する組織の設置についても検討する。</p> <p>また、より客観的な観客数の測定方法を検討する。</p> <p>さらに、補助金の費用対効果の検証や、新たな財源の確保についても、事業内容を精査しながら方策を整理する。</p>
-----------------------	--

6 2年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>本年度の水戸黄門まつりにおいて、来場者への現状把握調査を行うほか、平成29年度10月に水戸黄門まつりリニューアル協議会を設置し、事業内容のリニューアルに向けて協議を進める。</p> <p>客観的な観客数の測定方法の検討、補助金の費用対効果の検証や新たな財源の確保についても、事業内容のリニューアルとともに方策を整理していく。</p>

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)</p> <p>水戸黄門まつりは、昨年度の評価を受け、来場者へのアンケートの実施、事業内容のリニューアル、まつりのあり方を検証する組織の設置、客観的な観客数の測定方法の検討、補助金の費用対効果の検証及び新たな財源の確保を改善目標として掲げているところである。</p> <p>このうち、来場者へのアンケートについては、今年度を実施し、結果を取りまとめているところである。まつりのあり方を検証する組織の設置については、水戸黄門まつりリニューアル検討部会の設置(平成29年10月に設置予定)を検討している。今年度の水戸黄門まつりにおいては、市民カーニバルを原曲で踊る時間を設けるなど、リニューアル検討部会での検討を待たずして改善に取り組んでいることが評価できる。</p> <p>しかしながら、客観的な観客数の測定方法の検討、補助金の費用対効果の検証及び新たな財源の確保については、事業内容のリニューアルをする中で方策を整理することとしている。</p> <p>このようなことから、更なる改善を進めることとし、リニューアル検討部会の検討状況も見極めながら、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)</p> <p>水戸黄門まつりは、来場者へのアンケートの実施、事業内容のリニューアル、まつりのあり方を検証する組織の設置、客観的な観客数の測定方法の検討、補助金の費用対効果の検証及び新たな財源の確保を2年目評価における改善目標としている。</p> <p>このうち、来場者へのアンケートについては今年度を実施するとともに、まつりのあり方を検証する組織の設置については水戸黄門まつりリニューアル検討部会を平成29年11月に設置し、検討を進めているところである。また、今年度の水戸黄門まつりにおいては、市民カーニバルを原曲で踊る時間を設けるなど、リニューアル検討部会での検討を待たずして改善に取り組んだ。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、客観的な観客数の測定方法の検討、補助金の費用対効果の検証及び新たな財源の確保については、事業内容のリニューアルをする中で方策を整理することとしていることから、さらなる検討が必要である。</p> <p>このようなことから、リニューアル検討部会の検討状況を踏まえながら、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

7 2年目改善目標(2年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	客観的な観客数の測定や補助金の費用対効果の検証、新たな財源の確保について、事業内容のリニューアルをする中で、方策を整理する。
-----------------------	--

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況</p> <p>改善目標の取り組み状況として、水戸黄門まつりのリニューアルについては、平成29年11月に検討部会を設立し、様々な協議・検討を進めてきたほか、平成30年2月に外部有識者との意見交換、3～4月の期間には広く一般の方を対象とした意向調査及びリニューアル案の募集を実施した。これら外部の意見も参考にしながら、今後も、検討部会を中心に協議・検討を重ね、本年11月を目途にリニューアル案を決定していくこととしている。</p> <p>また、平成29年度水戸黄門まつり会場において、来場者に対し現状把握試験調査を実施し、「県外」からの来場者が約10%、「宿泊した」来場者が約2%などのデータ(参考値)を得た。これらのデータの精度を上げるため、本年は水戸黄門まつり会場において、対象件数を増やした現状把握本調査を実施する。</p> <p>客観的な観客数の測定方法については、会場が広範囲であること、盛り上がる会場や時間が開催年によって変わることなどの課題はあるが、引き続き事業内容のリニューアルを検討していく中で、測定方法について検討を進めていく。</p> <p>あわせて、アンケート調査の精度を上げることで、経済効果を精査しながら、費用対効果の検証を進めていく。</p> <p>また、新たな財源確保については、営業活動によって、協賛金の増加が図られている。引き続き協賛金の確保に努めるとともに、補助金のあり方について見直していく。</p>
--

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標(3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止、廃止の方向性)	
-----------------------	--

(別紙1-②)事業費内訳(補助事業)

(収入)

科目	金額(円)						増減(29-28年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度予算		
1 補助金	34,500,000	34,500,000	34,500,000	34,500,000	34,092,563	34,500,000	-407,437	事業内容を見直したため
2 協賛金	18,222,060	19,979,343	20,707,639	20,657,503	22,700,179	22,500,000	2,042,676	協賛者が増加したため
3 雑収入	58,984	60,379	104,157	104,224	85,187	50,000	-19,037	
4 繰越金	612,454	106,399	155,658	93,200	210,499	1,000,000	117,299	
合計	53,393,498	54,646,121	55,467,454	55,354,927	57,088,428	58,050,000	1,733,501	

(支出)

科目	金額(円)						増減(29-28年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度予算		
1 報償費	538,075	486,916	687,398	627,943	705,928	700,000	77,985	
2 旅費	12,000	12,000	8,000	29,760	8,000	10,000	-21,760	
3 消耗品費	18,958,126	19,363,817	18,045,346	18,302,718	18,640,241	19,800,000	337,523	花火大会費用が増加したため
4 燃料費	32,650	35,947	29,380	22,425	23,959	30,000	1,534	
5 食料費	2,575,156	2,242,341	2,648,062	2,376,767	2,475,448	2,400,000	98,681	
6 印刷製本費	4,735,185	4,884,840	5,535,000	5,512,860	5,947,560	6,100,000	434,700	協賛うちわ印刷費が増加したため
7 通信運搬費	127,120	150,465	159,702	137,092	245,661	260,000	108,569	首都圏キャンペーンにおける新たな取組のため
8 広告・宣伝費	199,500	178,200	199,800	172,800	270,000	270,000	97,200	上記理由による
9 保険料	1,337,280	1,504,120	1,687,007	1,643,475	1,605,262	1,650,000	-38,213	
10 手数料	146,445	108,074	153,780	278,492	317,633	300,000	39,141	
11 委託料	10,589,880	10,951,066	11,017,990	12,006,551	18,678,592	18,700,000	6,672,041	公衆放送、テント・机等の会場設営費を使用料から委託料に科目替えしたため
12 使用料及び賃借料	2,444,048	2,789,334	3,184,872	3,598,925	2,520,048	2,600,000	-1,078,877	上記理由による
13 工事請負費	1,083,469	1,131,840	1,177,200	604,800	672,975	680,000	68,175	
14 負担金及び補助金	10,508,165	10,651,503	10,840,717	9,829,820	3,977,121	4,500,000	-5,852,699	市民カーニバル部会への補助金廃止、カーニバルの設営費等として委託料に流用したため
15 予備費						50,000		
合計	53,287,099	54,490,463	55,374,254	55,144,428	56,088,428	58,050,000	944,000	

(収支)

	金額(円)					
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度予算
合計	106,399	155,658	93,200	210,499	1,000,000	

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 水戸黄門まつり

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
水戸黄門まつり実行委員会	主催	本部、ステージ、案内、広報
水戸商工会議所	共催	本部、ステージ、案内、広報
水戸市	共催	本部、記録、案内、広報、マスコットキャラクター
イベント会社	その他	ステージ設置等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成29年度実績 (開催日：8月4日～6日)

市職員	人数	主な業務
市職員	200人程度	各行事係員、花火警備等200人
実行委員会	100人程度	本部20人、案内所10人、各行事責任者30名、役員40人
委託会社職員	100人程度	花火業者50人、ステージ音響等設備関係50人
ボランティア	800人程度	黄門パレード200人、カーニバル20人、子ども神楽400人、サマードリム7エスタ100人、山鹿30人等
計	1,200人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成29年度実績

年月	内容
平成29年5月	第1回運営協議会 (各部会代表者による全体打合せ)
平成29年5月	第1回実行委員会 (顔合わせ、スケジュール確認、役割分担確認等)
平成29年6月	各行事ごとに第1回部会をそれぞれ開催 (顔合わせ、スケジュール確認)
平成29年7月	各行事ごとに第2回部会をそれぞれ開催 (当日の役割分担確認等)
平成29年7月	第2回運営協議会 (各部会代表者による全体打合せ)
平成29年7月	第2回実行委員会 (各行事の詳細な行事内容の報告)
平成29年8月	水戸黄門まつり開催

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数 (人) (A)	係員数 (人) (B)	総数 (人) (A+B)
平成29年8月4日～6日	第57回	水戸黄門まつり	966,000	1,200	967,200
平成28年8月5日～7日	第56回	水戸黄門まつり	933,000	1,200	934,200
平成27年8月7日～9日	第55回	水戸黄門まつり	939,000	1,200	940,200
平成26年8月1日～3日	第54回	水戸黄門まつり	891,000	1,200	892,200
平成25年8月2日～4日	第53回	水戸黄門まつり	956,000	1,200	957,200
平成24年8月3日～5日	第52回	水戸黄門まつり	946,000	1,200	947,200

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数 (人)	係員数 (人)	総数 (人)	事業費 (千円)	備考
福島市	福島わらしまつり実行委員会	福島わらしまつり	昭和45年から	255,000	600	255,600	25,540	平成27年度実績
高松市	高松市、高松まつり振興会	さぬき高松まつり	昭和39年から	650,000	797	650,797	80,925	平成27年度実績
宇都宮市	ふるさと宮まつり振興会	ふるさと宮まつり	昭和51年から	580,000	23,418	603,418	26,000	平成28年度実績
高崎市	高崎まつり実行委員会	高崎まつり	昭和50年から	750,000	750	750,750	70,000	平成28年度実績
郡山市	郡山うねめまつり実行委員会	郡山うねめまつり	昭和40年から	300,000	500	300,500	50,797	平成29年度実績
柏市	柏まつり実行委員会	柏まつり	昭和53年から	700,000	1500	701,500	37,400	平成29年度実績
川越市	川越市、川越まつり実行委員会	川越市、川越まつり	昭和57年から	120,000	集計せず	12,238	12,238	平成29年度実績

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る人数 (市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等) を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	(有)
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

平成29年度水戸黄門まつり現状把握試験調査について

- ・実施日：平成29年8月5日（土），6日（日）の2日間
- ・実施場所：①水戸駅北口ペDESTリアンデッキ案内ブース
②総合案内所（南町3丁目）
- ・概要：性別，年齢，住まい，来場の目的，花火観覧の有無，宿泊の有無，まつりの率直な感想，など8項目
- ・回答数：目標 1日1か所50件×2か所×2日=200件
結果 8/5①68件 8/6①128件
②125件 ②129件
計193件 計257件 ①・②合計450件
- ※その他，試験的にWeb上での調査も実施
Web上での調査(市facebook, Twitter) 8/3~8/15現在(20日まで実施) 218件

現地調査サンプル数 450件

性別	件数	割合
男性	127	28.2%
女性	312	69.3%
無回答	11	2.4%

年齢	件数	割合
10代未満	14	3.1%
10代	49	10.9%
20代	31	6.9%
30代	121	26.9%
40代	122	27.1%
50代	43	9.6%
60歳以上	66	14.7%
無回答	4	0.9%

住まい	件数	割合
水戸市内	246	54.7%
茨城県内	159	35.3%
茨城県外	44	9.8%
無回答	1	0.2%

宿泊有無	件数	割合
日帰り	296	65.8%
宿泊した	11	2.4%
その他	22	4.9%
無回答	121	26.9%

